



魚類

-ぎよるい-

いっしゅう すいちゅう せいかつ せきついでうぶつ
一生を水中で生活する脊椎動物。

えらで呼吸を行い、体は鱗でおおわれているものが多い。魚類の多くは、水の抵抗を受けにくい流線型の体型で、水中生活に適應している。



□コイ(コイ目コイ科)

なが ばしょ せいそく おおがた
流れのゆるやかな場所に生息する大型の淡水魚。雑食性で水草などを食べるが、特にタニシなどの貝類を好む。



□ギンブナ(コイ目コイ科)

ひつよう
ギンブナのほとんどはメスで、オスを必要とせず、メスのみでクローン個体を産むものが多い。



□タイリクバラタナゴ(コイ目コイ科)

ちゅうごくたいりく げんさん かいらいしゅ
中国大陸原産の外来種。ため池などの止水域を好む。繁殖期になるとオスはバラのような赤色を帯びる。



□オイカワ(コイ目コイ科)

かせん ちゅうりゅう かりゅう ひ あ よ
河川の中流から下流の日当たりの良い環境に生息する。繁殖期になるとオスは水色とピンクのあざやかな体色になる。



□モツゴ(コイ目コイ科)

あさ ちしゅう いけ せいそく
浅い池沼やため池に生息する。ロガが小さく細く見えることから、別名「クチボソ」と呼ばれる。



□ニゴイ(コイ目コイ科)

ひかくてき おお かせん ちゅうりゅう かりゅう
比較的大きな河川の中流から下流に生息する。ロガがとがり、ロガが下向きにしている。



□ドジョウ(コイ目ドジョウ科)

すいでん ちしゅう どころ なか せいそく
水田や池沼の泥の中に生息する。えらで呼吸するほか、腸や皮ふでも呼吸することができる。



□ナマズ(ナマズ目ナマズ科)

かせん ちしゅう みなそこ せいそく やこうせい
河川や池沼の水底に生息する夜行性の淡水魚。鱗がなく、皮ふはヌメヌメとした粘液でおおわれている。



□ヌマチチブ(スズキ目ハゼ科)

あんかっしよく からだ むすう あおじる てん もよう
暗褐色の体に無数の青白い点模様が特徴のハゼの仲間。河川の中流から汽水域、ため池などに生息する。



□マハゼ(スズキ目ハゼ科)

なみ ないわん きすいいき かせん
波のおだやかな内湾や汽水域、河川などに生息する。水底で砂や泥にお腹をつけて生活する。



□ウキゴリ(スズキ目ハゼ科)

なま かなま みなそこ
ハゼの仲間は水底でじっとしていることが多いが、ウキゴリは水底を離れてゆらゆらと泳ぐ習性がある。



EH

□カムルチー(スズキ目タイワンドジョウ科)
池沼やため池など流れのない場所を好む
大型の肉食魚。えらで呼吸するほか、
空气中の酸素を直接取りこみ呼吸する。



SN

□オオクチバス(スズキ目サンフィッシュ科)
北アメリカ原産の外来種。
コクチバスとともに通称「ブラックバス」と
呼ばれている。



KY

□ブルーギル(スズキ目サンフィッシュ科)
北アメリカ原産の外来種。
「ギル」は英語でえらを意味しており、えら
ぶたの後ろにある青黒い模様が特徴。



UD

□ミナミメダカ(ダツ目メダカ科)
水草の多い小川や水田に生息する。
以前は身近な場所でも見られたが、開発
や外来種の侵入などで生息地が減少。



□カダヤシ(カダヤシ目カダヤシ科)
北アメリカ原産の外来種。卵ではなく
仔魚を直接産み、水の汚れた環境でも
生息できる。飼育などが禁止されている。

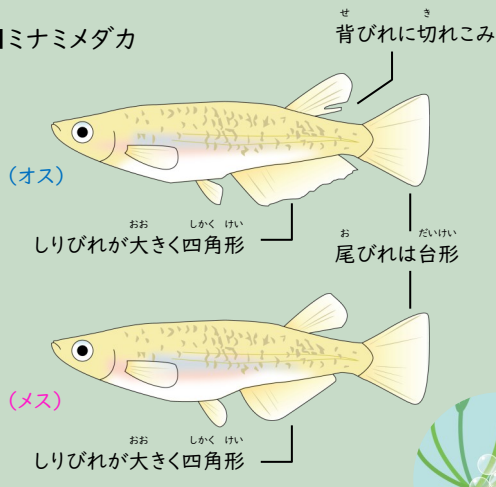


□ボラ(ボラ目ボラ科)
世界中の暖かい海に広く分布する魚類。
河川にも生息し、群れをつくり水面付近を
泳ぐ姿がよく見られる。

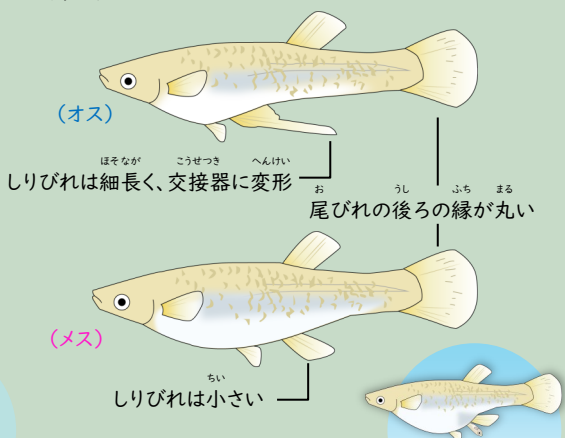
メダカとカダヤシの見分け方

カダヤシは、ボウフラ(カの幼虫)を減らすために移入された北アメリカ原産の外来種です。
メダカそっくりな見た目をしており、メダカと同じように小川や水路、水田に生息しています。
メダカの生息場所を奪ってしまうことから特定外来生物に指定されており、飼育すること、生きた
まま運ぶこと、別の場所へ放つことなどが法律で禁止されています。
メダカと間違えて飼育することがないように、十分に気をつけましょう。

■ミナミメダカ



■カダヤシ



卵生: 水草に卵を産みつける

卵胎生: メスの体内で卵はふ化する